

# 令和3年度 事業報告書

第17期

自) 令和 3年4月 1日

至) 令和 4年3月31日

社会福祉法人 みよしの会

特別養護老人ホーム 桜荘

桜 荘 ショートステイ

桜荘デイサービスセンター

桜荘 居宅介護支援事業所

# 目 次

	ページ
1. 法人（本部）事業報告	
(1) 理事会・評議員会事業報告	P 2
(2) 職員構成	P 4
(3) 事業運営	P 4
2. 特別養護老人ホーム事業報告	
(1) 介護度別	P 10
(2) 年齢構成	P 10
(3) 在籍期間	P 11
(4) 保険者別	P 11
(5) 入退居状況	P 12
(6) 入退院状況	P 12
(7) 事業計画報告	P 12
3. ショートステイ事業報告	
(1) 月別利用状況	P 16
(2) 保険者別	P 16
(3) 介護度別	P 16
(4) 年齢構成	P 17
(5) 事業計画報告	P 17
4. デイサービス事業報告	
(1) 事業計画報告	P 17
5. 居宅介護支援事業報告	
(1) 月別利用登録状況	P 18
(2) 保険者別	P 18
(3) 介護度別	P 18
(4) 年齢構成	P 19
(5) 事業計画報告	P 19

# 1. 法人（本部）事業報告

## （1）理事会・評議員会事業報告

### ○理事会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和3年5月26日	8名	1. 令和2年度事業報告に関する件 2. 令和2年度決算報告・幹事監査報告書に関する件 3. 理事選任に関する件 4. 監事選任に関する件 5. 理事長選任に関する件	承認 承認 承認 承認 承認
2	令和3年6月16日	8名	1. 評議員選任・解任委員会に関する件 2. 評議員選任・解任委員会開催省略に関する件 3. 評議員の選任推薦決議に関する件	承認 承認 承認
3	令和3年6月23日	8名	1. 理事長互選に関する件	承認
4	令和3年9月15日	8名	1. 令和3年度最低賃金改定による就業規則の一部変更に関する件 2. 大型修繕に関する件 3. ICT補助金に関する件	承認 承認 承認
5	令和3年11月17日	8名	1. 令和3年度事業執行状況に関する件 2. 令和3年度予算執行状況に関する件 3. 令和3年度埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金に関する件 4. 整備助成金事業費に関する件	承認 承認 承認 承認
6	令和4年3月16日	8名	1. 令和4年度事業計画に関する件 2. 令和3年度補正予算に関する件 3. 令和4年度予算に関する件 4. 就業規則の一部改訂に関する件	承認 承認 承認 承認

○評議員会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和3年6月23日	9名	1. 令和2年度決算報告・幹事監査報告に関する件 2. 理事選任に関する件 3. 監事選任に関する件 4. 令和2年度事業報告に関する件	承認 承認 承認 承認
2	令和3年9月29日	9名	1. 令和3年度最低賃金改定による就業規則の一部変更に関する件 2. 大型修繕に関する件 3. 厨房給食業者選定に関する件 4. ICT補助金に関する件	承認 承認 承認 承認
3	令和3年12月1日	11名	1. 令和3年度事業執行状況に関する件 2. 令和3年度予算執行状況に関する件 3. 令和3年度埼玉県地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金に関する件 4. 整備助成金事業費に関する件	承認 承認 承認 承認
4	令和4年3月30日	12名	1. 令和4年度事業計画に関する件 2. 令和3年度補正予算に関する件 3. 令和4年度予算に関する件 4. 就業規則の一部改訂に関する件	承認 承認 承認 承認

○監事監査の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和3年5月14日	2名	令和2年度財務状況監査報告 令和2年度事業報告監査報告	承認 承認

○選任解任委員会の開催

回数	開催年月日	参加人数	議案事項	結果
1	令和3年6月21日	6名	新評議員候補者に基づく新評議員の選出に関する件	承認
2	令和3年8月11日	6名	新評議員候補者に基づく新評議員の選出に関する件	承認

## (2) 職員構成

### ○正職員（令和4年3月31日現在）

職種	施設長	センター長	事務長	課長	相談員	介護支援専門員	介護員	看護師	管理栄養士	機能訓練士	合計
採用	0名	0名	0名	0名	1名	0名	5名	1名	1名	1名	9名
異動	0名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名
退職	0名	0名	0名	0名	1名	0名	8名	1名	1名	0名	11名
現在	1名	0名	0名	1名	2名	1名	48名	5名	1名	2名	61名

### ○非常勤職員（令和4年3月31日現在）

職種	介護員	夜間介護員	看護師	宿直	運転手	清掃員	合計
採用	3名	0名	1名	0名	0名	0名	4名
異動	0名	0名	0名	0名	1名	0名	1名
退職	5名	0名	2名	0名	0名	2名	9名
現在	16名	0名	4名	3名	2名	0名	25名

## (3) 事業運営

### ①健康診断

#### ○職員健康診断

回	年月日	参加人数	備考
1	令和3年9月	43名	春季職員定期健康診断
2	令和3年11月	78名	インフルエンザ予防接種
3	令和4年3月	83名	冬季職員定期健康診断

#### ○入居者

回	年月日	参加人数	備考
1	令和3年8月	75名	春季入居者定期健康診断
2	令和3年11月	84名	インフルエンザ予防接種

## ②苦情・相談件数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談	6	2	6	2	4	9	8	1	6	4	1	4	53
苦情	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2

○相談内容は、入居申し込みが主です。

## ③年間行事

月	行事名	備考
4	お花見	※ ユニット毎に誕生会、近隣の混雑を避け外出を実施した。
5	菖蒲湯	
6	—	
7	七夕会	※外出をして食事を頂く行事が出来なかった為に、テイクアウトにて外食を楽しんでいただく行事を実施した。
8		
9	敬老会	
10		
11		※バイキング形式で行う行事は取りやめ、ユニット毎で行事を実施した。
12	クリスマス会	
1	正月 初詣	
2	節分	
3		

## ④会議の開催状況

会議名	回数	参加人数	参加職種	主な内容
運営会議	12	12名	施設長 総務課長 各課主任 各課相談員 栄養士 ケアマネ	施設運営管理・実施事業の確認 決定、検討
ケースカンファレンス	180	各回 職員7名 家族	施設長 ケアマネ 相談員 介護職 看護師 栄養士 機能訓 本人 家族	ケアプランの策定
給食会議	12	桜荘 7名 レオック 4名	施設長 相談員 栄養士 厨房 介護員 看護師	食・栄養に関する事項

リーダーミーティング	1 2	20名	相談員 CM 介護主任 UL 看護主任 栄養士	施設における暮らし・生活に関する具体策の検討・案策定
ユニットミーティング	1 2	ユニット職員 5～9名	UL ユニット職員	ユニット内における暮らし・生活に関する具体策の検討・案策定

### ⑤委員会の開催状況

委員会名	回数	参加人数	参加職種	主な内容	
地域交流委員会	1 2	4～9名	各課担当者	コロナ禍で安心して行える行事を計画	
入居検討委員会	1 2	7名	施設長 介護主任 相談員 ケアマネ 第三者委員	入居申し込み状況の確認 入居候補者の順位の決定について	
接遇委員会	1 2	3～8名	各担当者	法人の接遇に関する方針の決定機関	
コロナウイルス感染対策委員会	1 2	10～12名	各担当者	コロナウイルス感染に関する方針の決定機関	
感染症予防委員会	4	5名	各担当者	感染症についての検討・立案	
褥瘡予防委員会	4	6～7名	各担当者	褥瘡についての検討・立案	
拘束廃止委員会	1 2	7～12名	施設 相談員,CM, 介護課・看護課主任	法人の拘束廃止に関する方針の決定機関	
事故防止委員会	1 2	6～10名	各担当者	事故分析 ・インシデント ・アクシデント	
緊急事故防止委員会	5	6～10名	各担当者	再発防止へ向けた対応策の策定	
衛生委員会	1 2	4名	産業医 施設長 看護主任 総務課長	職員の健康管理 職員の職場環境管理	
社会貢献 SDGs 委員会	1 2	5名	各担当者	施設で行う社会貢献に関する方針の決定機関	
パワハラ防止委員会	1 2	6名	各担当者	パワハラに関しての認識を深め防止について方針の決定機関	
環境委員会	1 2	2～6名	各担当者	施設内・外の環境美化について環境美化の計画・企画・立案	
ユニットケア 推進委員会	食事分科会	1 2	7名	施設長 各主任 CM UL	経営理念である、個別ケアを実現する為、ユニットケア理念を全職員が共通理解できるような企画・立案・活動
	排泄分科会	1 2	7名		
	入浴分科会	1 2	7名		

## ⑥消防訓練

回数	訓練内容	年月日	参加人数	立会い・指導
1	総合訓練（日中を想定）	令和 3年10月11日	24名	東入間消防
2	総合訓練（夜間を想定）	令和 4年 3月29日	12名	東入間消防

## ⑦保守点検実施状況

項目	事業者	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
<b>建 物（法定点検）</b>													
昇降機点検	ジャパンEV	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
受水槽清掃点検	毎日興業						○						○
簡易専用水道検査	県建築住安協						○						
建築設備定期点検	〃						○						
害虫駆除	シーアイシー					○						○	
電気自家発点検	関東電気保安	○		○		○		○		○		○	
消防用設備点検	カナイ消防機材	○							○				
<b>自主点検</b>													
ガス設備点検	山ニガス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
グリストラップ	毎日興業						○						○
窓	(株)CSS	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>施設備品</b>													
複合機	リコージャパン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
空調設備	毎日興業		○						○				
<b>施設車両</b>													
ハイエース 1号車	トヨタレント									○			
ハイエース 2号車	トヨタレント												○
ワゴンR 1号車	スズキ									○			
ワゴンR 2号車	スズキ									○			
ワゴンR 3号車	ダイハツ										○		

## ⑧研修

### ○施設内研修（計387名参加）

研修名	年月日	主催	参加人数
感染予防研修	令和3年10月1日～11月11日	特別養護老人ホーム桜荘	14名
事故防止研修（事例検討）	令和3年10月11日	特別養護老人ホーム桜荘	9名
感染予防研修	令和3年10月30日	特別養護老人ホーム桜荘	71名
介護接遇マナー研修	令和3年12月4日～26日	特別養護老人ホーム桜荘	77名
褥瘡予防研修	令和4年 2月 9日	特別養護老人ホーム桜荘	10名
拘束廃止研修	令和4年1月1日～31日	特別養護老人ホーム桜荘	68名



拘束廃止研修	令和3年 7月27日	特別養護老人ホーム桜荘	5名
接遇研修	令和3年11月13・14・16日	特別養護老人ホーム桜荘	63名
感染予防研修	令和3年5月25日～6月25日	特別養護老人ホーム桜荘	70名

○外部研修（計35名参加）

研修名	年月日	主催	参加人数
集団指導	令和3年 5月28日	埼玉県	6名
LIFE	令和4年 2月18日	ワイズマン	4名
看取り	令和3年10月19日	埼玉県老施協	7名
褥瘡対策、医療安全対策	令和3年11月10日	モルテン	6名
防火管理者講習会	令和3年2月14/26日	東入間消防署	1名
介護支援専門員研修	令和3年8月30日	埼玉共済会館	1名
人生の最終段階における医療体制整備事業	令和3年10月24日	厚生労働省委託事業	1名
働き方改革セミナー	令和3年10月22日	埼玉県老施協	1名
介護現場における生産性向上の取り組み	令和3年5月19日	埼玉県老施協	1名
入居者主体の生活支援について	令和3年5月19日	埼玉県老施協	1名
看取り期の体の変化と対応	令和3年4月28日	埼玉県県民健康センター	4名
変化を嫌う職員の特性を理解する	令和3年5月5日	埼玉県県民健康センター	2名

⑨アクシデント報告件数・・・・・・・・・・117件

	転倒	転落	ずり落ち	誤薬・落薬	離設	窒息	異食	忘れ物	その他	合計
4月	2	2	0	1	0	0	1	0	4	10
5月	2	2	0	1	0	1	0	1	6	13
6月	1	1	0	0	0	0	0	0	9	11
7月	3	2	0	0	0	0	2	0	4	11
8月	6	0	1	0	0	0	0	0	6	13
9月	4	1	1	1	0	0	0	0	4	11
10月	7	0	0	0	0	0	0	1	4	12
11月	7	2	2	0	0	1	1	0	3	16
12月	3	1	3	0	0	1	2	0	4	14
1月	1	1	3	1	0	0	0	0	0	6
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	12	10	4	0	3	6	2	44	117

その他の事案

入居者間トラブル（手を出してしまった）・バルーンチューブ抜去・食事形態の誤り提供・施設物品破損等・皮膚剥離・補聴器破損

⑩実習生受け入れ・体験・見学

○施設体験・見学

体験	年 月 日	学 校 名 等	人数
「総合的な学習の時間」における福祉体験	コロナ禍の為中止	三芳中学校	0名
「総合的な学習の時間」における福祉体験	コロナ禍の為中止	三芳東中学校	0名

○実習生受け入れ

実習名	年 月 日	学 校 名	人数
社会福祉士実習	コロナ禍の為中止	埼玉福祉専門学校	0名

⑪行政関係

○指導監査開催状況

種 別	対 象	年 月 日	内 容
指導監査	運営・処遇・財務	コロナ禍の為中止	定期指導監査（実地）

○介護相談員 第2水曜日

コロナ禍の為中止

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

⑫ボランティア・クラブ活動

コロナ禍の為中止

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

《主なVr》陶芸教室,茶道教室,ハーモニカ,傾聴ボランティア,音楽療法,リズム体操,書道クラブ等

⑬事業所別月次稼働実績

種別	特 養		ショート		デ イ		居 宅		備 考
	90床	%	25床	%	20名	%	35名	8名	
4月	2565	95	743	99	0	0	31	1	30日
5月	2,635	94	754	97	0	0	32	1	31日
6月	2,540	94	728	97	0	0	34	1	30日

7月	2,716	97	743	95	0	0	30	1	31日
8月	2,676	96	735	95	0	0	31	1	31日
9月	2,518	93	569	88	0	0	30	1	30日
10月	2,664	96	667	86	0	0	32	1	31日
11月	2,698	100	678	90	0	0	33	1	30日
12月	2,746	98	780	101	0	0	35	1	31日
1月	2,709	97	820	106	0	0	37	1	31日
2月	2,420	96	699	100	0	0	32	1	28日
3月	2,643	95	772	100	0	0	36	1	31日
合計	31,530	96	8,769	96	0	0	396	12	365日
稼働目標		96		96		80			

① 上記数値の標記は少数点第1位を四捨五入とする。

(令和4年3月31日現在)

## 2. 特別養護老人ホーム事業報告

### (1) 介護度別 平均介護度4・0

介護度	男性	女性	計
要介護1	0	0	0
要介護2	0	1	1
要介護3	7	9	16
要介護4	16	39	55
要介護5	4	15	19
計	27名	63名	90名

(令和4年3月31日現在)

### (2) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	2	2	最高年齢 男性 96歳 女性 102歳
65歳 ~ 69歳	0	0	0	
70歳 ~ 74歳	2	0	2	
75歳 ~ 79歳	1	7	8	
80歳 ~ 84歳	9	11	20	最低年齢 男性 71歳 女性 57歳
85歳 ~ 89歳	4	19	23	
90歳 ~ 94歳	10	16	26	
95歳 ~ 99歳	1	6	7	
100歳以上	0	2	2	平均年齢 86.5歳
計	27名	63名	90名	

(令和4年3月31日現在)

### (3) 在籍期間

区分 / 性別	男性	女性	計
3ヶ月未満	3	3	6
3ヶ月～6ヶ月未満	3	6	9
6ヶ月～1年未満	5	14	19
1年～2年未満	9	9	18
2年～3年未満	3	7	10
3年～4年未満	0	7	7
4年以上	4	17	21
計	27名	63名	90名

(令和4年3月31日現在)

### (4) 保険者別入居者数

保険者名	入居者数		計
	男性	女性	
三芳町	9	16	25
ふじみ野市	2	15	17
富士見市	3	4	7
所沢市	3	5	8
川越市	1	1	2
新座市	5	2	7
志木市	0	3	3
越谷市	0	1	1
真庭市	1	0	1
世田谷区	0	1	1
練馬区	1	6	7
清瀬市	0	1	1
三鷹市	0	1	1
板橋区	0	3	3
豊島区	0	1	1
上越市	0	1	1
東久留米市	0	1	1
八王子市	1	1	2
東村山	1	0	1
計	27名	63名	90名

(令和4年3月31日現在)

### (5) 入退居状況

月/区分	入居	退居				計
		死亡	長期入院	在宅復帰	他施設	
4月	5	2	3	0	0	10
5月	2	1	0	0	1	4
6月	5	1	5	0	0	11
7月	3	0	2	0	0	5
8月	4	3	1	0	0	8
9月	3	2	1	0	0	6
10月	8	1	7	0	0	16
11月	1	1	0	0	0	2
12月	1	1	0	0	0	2
1月	2	1	1	0	0	4
2月	1	1	0	0	0	2
3月	3	2	2	0	0	7
計	38名	16名	22名	0名	1名	77名

(令和4年3月31日現在)

### (6) 入退院状況

月/区分	入院	退院
4月	6	4
5月	2	2
6月	6	2
7月	4	0
8月	7	3
9月	9	3
10月	3	2
11月	0	0
12月	4	1
1月	3	2
2月	6	3
3月	4	2
計	56名	24名

(令和4年3月31日現在)

### (7) 事業計画報告

1. 人財教育の継続・質の向上（考える職員を育てます）を追求します。

#### 1) ■クレドの理解や実践の向上

桜荘の求める人財像であるクレドがわかって行動できるようになります。

(報告)

⇒クレドを理解し意識して行動してもらえるように促すことは、来年度も必要だと考えるため変更せずに継続する。

リーダーMにて翌月に取り組む項目を伝えることで、まずはリーダーが考え、ユニットMにてユニット職員に意識して取り組んでもらう事が出来た。そのため実践内容は変更せず継続。記録の内容が感想や意見が多く記入されていた為、実践内容を記入してもらえるようにクレド活動報告の書式変更を行う。

## 2) ■チューター制度の見直し、質の向上

チューターが中心となり フロア職員一丸となって指導していきます。そして教える側も教わる側も 一緒に学び成長します。

### (報告)

⇒チューター制度を定期的に見直し改訂する為には、実際にチューター制度実践した職員(教える側・教わる側)の意見を聞くことができれば具体的に問題点がわかり、実践しやすいものに改訂することで出来るのではないかと考え改正する。分科会が働きかけ効果的に行われているか確認・指導を行う事は来年度も必要だと考えるため変更せずに継続する。

## 3) ■フィードバック面談の質向上を目指します ※(教える側も教わる側も学びす)

全職員が前向きにFB面談をとらえ、自己の課題に向き合い 成長に繋がります。

### (報告)

⇒どの様に取り組むか考える事・振り返る事は必要な事であり、その考え方が浸透してきているので方法は継続する。

しかし、FB面談後の振り返りについては分科会から流れを指導した事により期日を守り提出できるようになったが、中身についてはユニットごとに差が出来ていると感じるまた、進捗状況に関しての報告事項に関しても面談前のリーダーMにて説明を行う。

## 2. ケアの質の向上を追求します!!

### 1) ■「生きることを想いやる気持ち」を大切にします!!

毎月の分科会を中心に個々の生活基本スタイル(食事・入浴・排泄等)や24H

シート、ケアプランを見直し、通年かけて個別支援の質を向上させます。

### (報告)

⇒24Hシートの更新はできていたが、変更項目の記入ができていないユニットが多かった。文言を変更することで、何をどうしなければいけないのかが強調され分かりやすくなると考える。タブレットも導入されよりよい情報共有ができるようになり、入居者の個別支援の質の向上を目指す。

タブレットの導入もあり、ケアプランの研修が出来なかった為、次年度開催月を決め実行する。

## 2) ■安心・安全なサービスを追求していきます。

①生活記録をはじめとする記録類の充実を図ります。

### (報告)

⇒良い記録例を選出し、配布する事で記録記入の参考になった。記録ソフトの活用で記入者が限定され、提出率が下がっている。記録分科会でマニュアルを作成し提出を促したい。面会制限が続いておりご家族に安心して頂く為に、入居者の写真を送付する、面会制限解除になるまで継続する。

② アクシデントへの取り組みを強化し、アクシデント件数を減らします。

決められた翌月のテーマに沿って事前にユニット M で話し合う事で、一人ひとりへの注意喚起を目指す。

### (報告)

⇒発生件数の多い転倒や重大なアクシデントにつながる窒息・服薬についてなど定期的に自ユニットで考える機会を設けることで、一人ひとりが注意するポイントを明確にできる事を目指します。

昨年度よりアクシデント発生数が17件増となり、特に転倒事故の発生が多い年となってしまったが、入所間もない方・同じ方が転倒を繰り返しているケースが多かった。より効果のあるポイントを絞ったテーマを考えて行きたい。

⇒事故防止委員会は件数の多いひやりはっとや対策が必要と思われるケースには予防対策を立てる様に UL に促し、UL を中心にひやりはっと報告を活用し、効果的な予防策が早期にたてられるように支援します。

令和4年度も予防対策作成を促す事が重要であると考え、火吉好き取り組んでいく必要がある為継続とします。

⇒リーダーMで重大アクシデントの内容・対策を報告し情報を共有します。

それをユニット M の際に、自ユニットでも類似アクシデントの恐れが無いかを検討し、その検討内容を会議録に載せることで情報を共有し未然に防ぎます。

令和4年度も類似アクシデントを検討することで注意喚起となりアクシデントを未然に防ぐことにつながると考える。考える機会を設けるという意味で効果があった為継続とします。

⇒事故防止委員会を中心に、施設全体のアクシデント・ひやり・はっとの集計・分析を行い事故対策を促進します。対策が必要なひやりはっとは、委員会議事録に残し次月の委員会の際にユニットで立てた対策を報告します。報告することでひやりはっとに対する注意喚起をしていく。

ひやりはっとを重要視することが、アクシデントを未然に防ぐことにつながる為、令和4年度も継続して取り組んでいく。

## 3) 高齢者施設の専門職(看護・栄養・機能)として生活モデルの視点を養います。

### (報告)

介護職と共にH24時間シートを作成し、カンファレンス等に参加することで入所者・利用者・家族の想いを知ることができケアにつながられた。

②看護師としてその方の疾患を把握し、必要に応じて疾患についての勉強会をひらきます。

(報告)

・体調不良を早期発見し、重度入居者の受け入れを行っていった。

4) 食の楽しみを追求していきます。

(報告)

個別栄養マネジメントを提案しながら、食の楽しみを迫及した。

また、季節感と楽しみでの満足感を得られるように、行事食を行った。

5) 自己研磨しよう

(報告)

フィードバック・研修で学ぶ機会を提供しました。

6) 地域に愛される施設づくりに努めます

桜荘が選ばれる施設になれるように外に情報を発信していきます。

(報告)

⇒未だ続いているコロナ禍である現状でも出来る事・ユニット職員でも出来る事などを考え、ご家族にも気軽に施設の日々の様子を見て頂けるようにタブレットに写真を残し、SNSにアップすることで桜荘の様子を外に発信していった。

7) 経営基盤の強化

(報告)

○特養の役割である重度入居者の受け入れを積極的に行ってまいりました。

○無駄な経費は削減し必要な所に力をいれ収支をより一層確認してまいりました。

○人材教育に力を入れるシステムの構築を図りました。



### 3. ショートステイ事業報告

#### (1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	目標
定員	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300	
%	99	97	97	95	95	88	86	90	101	106	100	100	96 (平均)	96

(令和4年3月31日現在)

#### (2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	4	4	8
ふじみ野市	4	4	8
富士見市	1	3	4
所沢市	0	3	3
川越市	0	1	1
新座市	1	5	6
朝霞市	0	0	0
練馬区	0	1	1
小平市	0	1	1
清瀬市	2	2	4
板橋区	0	1	1
台東区	0	1	1
江東区	0	1	1
狭山市	0	1	1
東久留米市	0	1	1
計	12名	29名	41名

(令和4年3月31日現在)

#### (3) 介護度別 平均介護度3.4

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	0	0	1	5	9	13	6	34
5月	0	0	2	7	9	15	4	37
6月	0	0	1	5	10	12	5	33
7月	0	0	3	6	13	10	4	36
8月	0	0	5	5	11	12	4	37
9月	0	0	2	6	7	12	6	33
10月	0	0	2	11	7	13	7	40
11月	0	0	4	8	7	13	9	41
12月	1	0	2	10	8	15	8	44
1月	0	0	4	5	10	18	8	45

2月	0	0	2	5	8	18	7	40
3月	0	0	2	5	11	17	6	41
計	1	0	30	78	110	168	74	461

(令和4年3月31日現在)

#### (4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	0	1	1	最高年齢 男性 89歳 女性 97歳
65歳 ~ 69歳	0	1	1	
70歳 ~ 74歳	0	1	1	
75歳 ~ 79歳	0	3	3	
80歳 ~ 84歳	3	1	4	最低年齢 男性 83歳 女性 64歳
85歳 ~ 89歳	3	2	5	
90歳 ~ 94歳	0	4	4	
95歳 ~ 99歳	0	1	1	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 83.6歳
計	6名	14名	20名	

(令和4年3月31日現在)

#### (5) 事業計画報告

※特養部門の報告と同様

### 4. デイサービス事業報告

コロナウイルス感染症の発生に伴い、デイサービスは休止とさせて頂きました。

## 5. 居宅介護支援事業所事業報告

### (1) 月別利用登録状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護	31	32	34	30	31	30	32	33	35	37	35	36	396
予防	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(令和4年3月31日現在)

### 2) 保険者別

保険者名	利用者数		計
	男性	女性	
三芳町	10	28	38
ふじみ野市	1	1	2
富士見市	1	3	4
文京区	1	0	1
川越市	0	1	1
新座市	0	1	1
世田谷区	0	1	1
志木市	0	1	1
台東区	0	1	1
所沢市	0	2	2
豊島区	0	1	1
板橋区	0	1	1
計	13名	41名	54名

(令和4年3月31日現在)

### (3) 介護度別

月/区分	要支1	要支2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
4月	1	0	17	5	4	3	2	32
5月	1	0	16	5	4	4	3	33
6月	1	0	17	6	4	3	4	35
7月	1	0	15	7	4	2	2	31
8月	1	0	14	8	4	2	3	32
9月	1	0	13	8	3	2	4	31
10月	1	0	14	8	2	3	5	33
11月	1	0	14	8	3	4	4	34
12月	1	0	14	9	4	4	4	36
1月	1	0	14	11	4	4	4	38
2月	1	0	12	10	4	5	4	36
3月	1	0	13	10	3	6	4	37
計	12	0	173	95	43	42	43	408

(令和4年3月31日現在)

#### (4) 年齢構成

区分/性別	男性	女性	計	備考
65歳未満	2	2	4	最高年齢 男性 88歳 女性 97歳
65歳～69歳	1	0	1	
70歳～74歳	1	6	7	
75歳～79歳	3	7	10	
80歳～84歳	3	14	17	最低年齢 男性 57歳 女性 48歳
85歳～89歳	3	7	10	
90歳～94歳	0	3	3	
95歳～99歳	0	2	2	
100歳以上	0	0	0	平均年齢 80.1歳
計	13名	41名	54名	

(令和4年3月31日現在)

#### (5) 事業計画報告

##### (利用者の生きる力を最大限に引き出す支援)

オンラインや動画配信にて、埼玉県地域包括ケア推進課・三芳町役場・埼玉県介護支援専門員協会・2市1町の医療と介護の他職種連携研修会が主催する研修に参加しました。

それにより専門的な知識や技術を高め、ケアマネジメントの質を向上することができています。

引き続き、意思決定支援ガイドラインに基づき、利用者の意向、意欲を引き出すケアプランを作成していきます。

##### (人財育成)

コロナ禍のため、各種ケアマネジャー交流会は中止となりました。

R3年度は、東入間地区入退院支援ルール作成のワーキングチームに三芳町の居宅ケアマネの代表として参加し、入退院時連絡シートの作成に携わりました。

R4年度は、三芳町ケアマネジャー業務支援委員会に代わる三芳町主任ケアマネジャーの会を立ち上げ、役員として活動していきます。

また、埼玉県介護支援専門員協会からの推薦により、介護支援専門員法定研修の演習指導者のOJTを受け、人材バンクに登録する予定です。

##### (経営基盤の強化)

稼働率97.1%。

新型コロナウイルスの影響により、引き続き、新規の問い合わせが減少傾向ですが、「入院・入所中は面会できない」との理由で、自宅で看取るケースが増えました。今後も多様なニーズに応え、単発的なケースも引き受けていきたいと思えます。また、ICTを積極的に活用し、ペーパーレス化による経費削減および業務の効率化を図っていきます。

(地域との協働と社会貢献)

三芳町認知症事業所連絡会、三芳町介護者（ケアラー）支援連絡会議などは、三芳町ケアマネジャー業務支援委員会のメンバーが、オンラインにて参加しました。埼玉県介護支援専門員協会と埼玉県消防長会による事業連携にて、定期訪問時に、住宅用火災警報器の設置・点検、設置義務化開始後約10年による交換時期の啓蒙活動を行いました。

三芳町災害時要援護者避難支援プランを、該当者および手上げ方式希望者について作成しました。

引き続き、BCPマニュアル、安否確認優先順位リストの更新を進めていきます